

お母さんが教えてくれること

橋本 美咲

「ちゃんと大きな声であいさつせんと。」わたしのお母さんはいつも言います。わたしは「分かっているのに。」と心の中で思います。お母さんはやさしいけど「あいさつ」のことになるととてもきびしいお母さんになります。いつも、と中までむかえに来てくれるお母さんとの帰り道「こんにちは。今日も暑いですね。」とお母さんはいろんな人へあいさつをします。すると「こんにちは。ほんと暑いですね。おじようちゃん、おかえり」とおばちゃんが言ってくれます。わたしは少しはすかしくて「かえりました。」と小さな声になってしまいました。するとお母さんは「ちゃんと大きな声であいさつせんといけんよ。」と言いました。わたしのしたあいさつは、おばちゃんには聞こえにくかったようです。

そんなある日、一人での帰り道この間会ったおばちゃんが畑で仕事をしているのを見かけました。でもわたしのことに気づいていません。わたしはこの間のことを思い出して「どうしよう。このまま走っていかうか。」と少しずるい気持ちになりました。そんな時、お母さんがいつも言っていた「あいさつ」の言葉を思い出しました。わたしは深くきゅうして

「かえりました!!」と言いました。おばちゃんはびっくりしたようにふりむいてすぐ「おかえり。暑かったなあ。気をつけて帰りよ。」と笑顔で言ってくれました。最初はどきどきしたけど、ちゃんとわたしの声が聞こえたんだと思うと胸がすうっとしてとてもうれしかったです。少しでもずるい気持ちになった自分はずかしかったです。

家に帰ってお母さんに話すと「がんばったなあ。ちゃんと大きな声であいさつすれば気持ちいいじゃろ?」とお母さんは笑って教えてくれました。今ではみんな「気をつけて学校行きよ。」「おかえり。気をつけて帰りよ。」と声をかけてくれます。お母さんは「美咲、みんな気にかけてくれるんよ。いつも人に感しやる気持ちも忘れたいけんよ。」と教えてくれます。今のわたしには少しむずかしいかもしれないけど、大きくなるにつれて、わかるようになるんだろうなあと思います。

お母さんはこれからもたくさんのお母さんに教えてくれると思います。それがどんなことなのかとても楽しみです。お母さん、いろんなことを教えてくれてありがとう。